

フリースクールの運営に係る公的支援に関する請願書

紹介議員

伊藤 容子

紹介議員

中川 睦子

紹介議員

角井 英明

請願趣旨

文部科学省が公表した調査によりますと、昨年度に不登校が理由で小中学校を30日以上欠席した児童生徒は約30万人にものぼり、10年連続で過去最多を更新しました。国や県、各自治体で「不登校対策」を講じているにもかかわらず、学校を拒否する子どもたちの増加に歯止めがかからないのが現状です。

彦根市に目を向けますと、小学校で123人（在籍率2.0%、全国1.7%）、中学校で201人（在籍率6.67%、全国6.0%）と、不登校児童生徒の在籍率が全国平均を上回っています。また、学校以外の選択肢が少なく、家から出られない子どもたちもたくさんいます。

心が疲弊し、体が動かなくなるまで追いつめられた子どもたちが、本来の自分を取り戻すことは容易ではありません。真の笑顔がもどるまでには、十分な「休息」とエネルギーを蓄える「充電」が必要です。フリースクールてだのふあは、そうした子どもたちの「居場所」として、毎日たくさん子どもたちが通所しています（2024年3月末現在、在籍35名、一日の平均通所約17名）。子どもたちは、異年齢集団の中で実に生き生きと活動しています。本来の個性が豊かに開花しつつあります。

私たちは、「不登校問題は命に関わる重大な課題」（「子らのいのち輝く署名」）と位置づけ、2021年と2023年の二度にわたりとりくんできました。いずれも三千筆を超える署名が集まり、彦根市議会に提出した「請願書」も全会一致で採択されています（2回）。しながら、保護者への利用料金助成は実現したものの、スクール運営に係る助成は実現には至っておらず、行政からは1円の支援もなく、運営は常に厳しい状況にあります。

どうか私たち市民の願いが届き、子らのいのちが輝き続けますように！
ぜひ、実現いただきますよう、よろしくお願いします。

請願事項

1. フリースクールの運営に係る公的支援をお願いします。

2024年9月4日

彦根市議会議長
上杉 正敏様

請願者

住所
氏名滋賀県彦根市城町2丁目6番47号
山下 吉和